



神中だより

No. 2

令和8年5月29日 京都市立神川中学校

心を磨き、未来へと向かい、

自らやり抜く生徒の育成

～ 絆 ・ 夢 ・ 力 ～

Email : kamikawa-c@edu.kyoto.city.jp

6月予定

日	曜	予定	日	曜	予定
1	月	教育相談～9日(火)	16	火	
2	火	検尿①	17	水	第1回定期テスト①
3	水	検尿②	18	木	第1回定期テスト②
4	木		19	金	第1回定期テスト③
5	金		20	土	
6	土		21	日	
7	日		22	月	
8	月		23	火	卒アル部活写真撮影①
9	火		24	水	心臓二次検診
10	水	テスト前週間	25	木	
11	木	進路保護者説明会配信	26	金	卒アル部活写真撮影②
12	金		27	土	
13	土		28	日	
14	日		29	月	
15	月		30	火	生徒総会

「原点にして頂点」

タイトルを見て、みなさんは何を思い浮かべるでしょうか？

私が思い浮かべる生産品は「コカ・コーラ」「カップヌードル」「ポルシェ911」です。これらは、初期のレシピや設計を大きく変えることなく、長く多くの人に愛され続けています。それだけ最初の設計が優れていたということでしょう。

教育においても「原点」はとても大切です。教育の原点は、やはり「読み書きそろばん」につきるのではないのでしょうか。この根の部分がしっかりしているからこそ、大きくしなやかに伸びる木のように、子どもたちは成長していきます。大人の役割は、水をやり、肥料を調整し、日

光の当たり具合を確かめることに似ています。すぐに結果を求めるのではなく、じっくりと成長を待つ姿勢を求められます。

成長には、「待つ」ことが欠かせません。しかし、この「待つ」ということは、大人にとっては我慢を要するものです。皆さんは、しっかり待つことができているでしょうか。つい「転ばぬ先の杖」を出したくなるものですが、子どもは転び、傷つき、泣き、そこから立ち上がることで実際に成長していきます。だからこそ、私たちは信じて待ちたいものです。

学校教育はしばしば増改築を重ねた温泉旅館に例えられます。新しい設備や手法は増え続けていますが、肝心の「泉質」が悪ければ、人は訪れません。同じように、学校教育においても、原点である「授業」が

何よりも重要です。

良質な授業を実現するためには、教職員一人ひとりが学び続ける姿勢を持ち、新しいものを柔軟に受け入れていくことが必要です。そして同時に、いつでも原点に立ち返ることのできる人こそが、成長し続ける教職員であると言えるでしょう。

今年度は続けてきた授業改善に、いよいよ本腰を入れて取り組むようにしていきます。そのための組織も整え、生徒たちが主体的に、そして楽しく授業に参加できるように仕組みを作っていきます。

さて、2年生のチャレンジ体験、3年生の修学旅行と、大きな行事が無事に終わりました。3年生は、私が神川中学校に着任した年の新入生です。その頃を思うと、今回の修学旅行で見せてくれた成長した姿

には、深い感動を覚えました。どの学年の生徒も、実りある経験ができたことと思います。

来月は、第1回定期テストが予定されています。1年生にとっては初めての定期テストです。それぞれがしっかりと準備を整え、力を発揮できるように期待しています。

